

② グループディスカッション

グループディスカッションは、複数(5~10名)の学生がグループをつくり、与えられたテーマについて自由に話し、その様子を面接官がチェックする選考方法です。それぞれが、与えられた役割をきちんと果たしているかを見られ、組織への適応性を判断します。



グループディスカッションの流れ



面接官はここをチェック!!

- 自分の役割を把握し、その役割を果たしているか。
- 常に自分の意見を持って、討論に参加しようとしているか。
- 言葉使い、姿勢などマナーはきちんとしているか。
- 他の人の意見を尊重し、全員が参加できるよう配慮しているか。
- 進行がスムーズに進むよう協力しているか。

ディスカッションの種類

① フリーディスカッション

テーマが出題され、それについて自由に話し合う。フリートーク形式ともいう。

③ グループワーク

その業界の状況について詳しく条件設定がされており、分析や議論を通じてゴールを目指す。ゲーム形式が多い。

② インバケット

いくつかの要素が提示され、その優先順位を決めるための話し合いを行う。

④ ディベート

対立する2組に分かれて討論する。グループ分けは無作為に行われ、テーマは自分で選べないケースが多い。正式なディベートであることは少なく簡易型がほとんど。

ディスカッション突破の7つの原則

- ① **グループ全員で合格するという心構えで**
メンバーはライバルでなく同士である。スタンドプレイはNG。
- ② **出題の意図をしっかりととらえる**
何を求められているのか自分なりにストーリーを組み立てる。
- ③ **企業の評価基準の念頭におく**
積極性・コミュニケーション能力・論理的思考…発言の質に○がつく。
- ④ **他者の意見をしっかりと聞く**
コミュニケーションで大事なことは話すことではなく聞くこと。うなずき・相槌など聞く姿勢も忘れずに。
- ⑤ **結論から話す**
論理的思考をアピールできるポイント。結論→根拠→エピソードが理想。
- ⑥ **評論家にならない**
自分の意見をしっかりと。否定発言・ネガティブ発言は即アウト。
- ⑦ **発言の量ではなく質とバランス**
ちょこちょこ意味のない発言を多くするよりも、まとまったしっかりとした意見を心掛ける。

グループディスカッション主なテーマ集

就職活動に対する考え方や意識を問うもの

- 就職に必要なものを3つ上げて下さい(人材)
- 就職活動で役に立つことは何か(IT)

世情・社会に対する知識を問うもの

- 少子高齢化時代の労働力確保について(メーカー)
- フリーター、ニートへの有効な対策について(法人)

マーケティング知識や創造性を問うもの

- 大学生をターゲットにした商品開発(人材)
- 日本への外国人観光客を増加させる方法(法人)

意見の対立が予想され、簡単に結論がでないもの

- 仕事と恋愛のどちらを選ぶか(メーカー)
- 正社員と非正社員の是非について(金融)

会社や仕事に対する意識を問うもの

- 正社員とアルバイトの違いは何か(金融)
- 理想の上司というのは、どういうものか(金融)
- 社会人と学生の違いは何か(販売)

専門的知識を必要としない、常識の範囲で討論できるもの

- 現代の若者の意識についてまとめて下さい(法人)
- 学生時代に得たもの(メーカー)